



## 保育科 教授

野中 弘敏 (のなか ひろとし)

Nonaka Hirotohi

自己紹介 (プロフィール)	教員になる前は精神障害者施設の職員や学生相談カウンセラーなどをしていました。研究室を訪れた学生さんに「本棚が充実していますね」とほめられることがあります (漫画にも佳い作品は多いのです)。時々、遅咲きの?バックパッカーとして、日本とは異なる歴史、文化や習慣、そこに住む人々や旅先で出会う人々に触れる経験には得難いものがあるなぁと感じています。他の先生方には「また修行してきたの? (笑)」と言われてしまいますけれど。
学生へのメッセージ	対人援助職で重視される「他者理解」のために、自分と異なる背景や状況、好みや考えをもつ他者への想像力や、豊かに想像するための諸知識も大切ですが、どうやら「他者への眼差し」の濃やかさは「自分への眼差し」のそれとも相關するようです。短大生活での経験や出会いが、自他への眼差しを深める糧となりますように。
保有学位	修士 (教育学) 東京大学
保有資格・免許	臨床心理士 精神保健福祉士
研究分野	心理臨床学
現在の研究テーマ	こころの健康と笑い グリーフ・ワーク
主な担当科目	教育相談の基礎 臨床心理学 臨床心理学特論<専>
学内での活動	研究倫理委員会委員長 学生総合支援委員会副委員長 FD委員会委員
学外での活動	日本臨床心理士会会員 (H11~) 日本精神保健福祉士協会会員 (H13~) 日本私立短期大学協会学生生活委員会委員 (H28~)
所属学会	日本心理臨床学会、日本人間性心理学会、日本教育心理学会、日本保育学会、 International Society for Humor Studies (国際ユーモア学会)

主な職務実績（抜粋）

事項 (単独・共同)	年月日	概要
(研修会講師) メンタルフレンド研修会 (単独)	H27. 5	引きこもりや不登校を経験している児童・生徒に対し訪問による援助を行う山梨県のメンタル・フレンド派遣事業に係る研修会の講師として、メンタル・フレンドに登録希望または関心のある大学生等を対象に、思春期・青年期の心理や不登校・ひきこもりの心理を踏まえつつ、メンタル・フレンドの役割や関わり方の実際について、具体的な事例に基づく講義を行った。(山梨県中央児童相談所主催、於：山梨県福祉プラザ)
(ラジオ番組講師)「ストレスチェックで心も元気！」 (単独)	H27. 6	一般聴取者向けラジオ番組の講師として、労働安全衛生法の改正により平成27年12月より義務化された「ストレスチェック」制度について概説し、厚生労働省の公開する「5分でできる職場のストレスセルフチェック」を紹介しつつ、職場での主なストレス要因やストレスをためやすい時期や要因、ストレスをためこまないための工夫について解説した。 (「第 327 回Y G U山梨学院大学ラジオセミナー」、於：YBS ラジオ)
(研修会講師) 2015年度夏季メンター研修会 (単独)	H27. 9	山梨学院大学において今後のピア・サポート活動を期待される学生(メンター)を対象とした研修会の講師として、カウンセリングの理論と技法に基づくピアヘルピングの方法について、特に言語的技法に焦点を当てた講義を行うとともに、他者理解につながる自己理解への細やかなまなごしを養うことを目的として、東大式エゴグラムの実施体験を手がかりとしたセルフ・イメージを吟味するワークショップを行った。(山梨学院大学学習・教育開発(LED)センター主催、於：山梨学院大学)
(講習講師) 2016年度(平成28年度)山梨学院大学教員免許状更新講習 (単独)	H28. 8	教育職員免許法第9条の三に基づき、現職教員等の教員免許状更新を目的とした講習(必修講習)において、子どもの発達に関する心理学・脳科学的知見、特別支援教育に関する今日的課題、人間関係形成とカウンセリングマインド、子どもを取り巻く環境と生活実態の変化、「ネット社会」と子どもたち、学級づくりと対話の言語的技法について、実践事例のビデオ視聴を交えた講義を行った。(山梨学院大学主催、於：山梨学院大学)
(模擬講義講師) 平成28年度高大連携プログラム (共同)	H28. 9～ H29. 2	山梨学院高校2年生を対象に、短期大学の保育科で心理学を学ぶ意義について概説したのち、NEO FFI日本語版を参考に作成した人格検査を用いて、回答・採点・結果の吟味による自己理解のプロセスを体験させることを通じて、短期大学における心理学の授業の実際に触れる講義を行った。(山梨学院大学・山梨学院短期大学高大連携委員会主催、於：山梨学院短期大学)
(研修会運営) 平成28年度私立短大学生生活指導担当者研修会 (共同)	H28. 12	私立短期大学の学生生活指導担当職員・教員が参加する研修会において、運営委員として会期中の運営全般に携わるとともに、学生相談を主なテーマとした分科会の司会進行として、学生相談の他、障がい者支援、経済支援等に関する参加者からの問題提起や取組事例の紹介など情報交換を行った。(私学研修福祉会主催、於：京都ガーデンパレス)

主な教育研究業績（抜粋）

著書、学術論文等 （単著・共著）	年月日	発行所、発表雑誌、発表学会等	概要
教育相談—子どもの理解とカウンセリング（共著）	H24. 3	大学図書出版	思春期・青年期に起こりやすい主な心理的困難とその対応の概要について、①身体との関連で現れる症状（不安障害・過呼吸・自傷行為・摂食障害）、②心身双方の影響によって現れるとされる不調（気分障害・統合失調症）、③人間関係や社会からの「退却」（不登校・ひきこもり）、および④それらへの「対抗」（少年非行）の視点から概説した。（第6章担当）
ストレスとは（単著）	H24. 5	日本栄養士会雑誌（栄養日本）（(公社)日本栄養士会編）	多義的に用いられるストレスについて、①H. Selyeに基づくストレス概念の由来、②心身変調の引き金となる多様なストレス(源)、③ストレスにより生じる多様なストレス反応、および④ストレス認知の個人差に関わるストレス・コーピング(R. S. Lazarus)と対処方略としてのストレス・マネジメント、の観点から概説した。（pp. 4-8）
子ども臨床とカウンセリング（共著）	H25. 9	みらい	問題を抱えた子どもや保護者がコミュニティにおいて利用できる相談機関や役割を、①保育領域（保育カウンセリングを考える際の留意点・保育現場での相談援助・保育相談における「問題」のとらえなおしに関する事例）、②教育領域（教育臨床の場・特別支援教育）、③福祉領域（児童相談所等・社会的養護施設・発達支援と子育て支援）、④保健・医療領域（相談治療機関・コミュニティケアの実際に関する事例）の視点から概説した。（pp. 204-224）
メキシコ・グアダラハラ「授業参観」—幼稚園と大学、そして補習授業校—（単著）	H28. 3	山梨学院短期大学研究紀要	2015年9月に、メキシコ合衆国グアダラハラ市にある在外教育施設（補習授業校）、および現地の大学と私立幼稚園の授業をそれぞれ見学させていただく機会を得た。その中で、現地大学では学生の熱意と「専門領域の探究を通じた他文化理解」という視点から、補習授業校では海外で学び教える日本の子どもたちや教師の姿を通じて、「学びの再起動」を深く促していただいた。（pp. 127-132）